

Article 表紙解説

—ヒトの一撃—

Cover Comment: The Hit

北岡 伸也 (株)ドワンゴ
Shinya Kitaoka DWANGO, Co., Ltd.
shinya_kitaoka@dwango.co.jp, <https://dmv.nico>

Keywords: medical care.

1. はじめに

本号の表紙を飾るのは、岩澤 駿先生に描下ろしていただいた“ヒトの一撃”です。特集「人工知能技術の医療応用」をテーマとして制作いただきました。

2. 解説

表紙作品についての岩澤 駿先生から下記のコメントをいただいております。

「人工知能技術の医療応用」というテーマをいただき、新型コロナウイルスに立ち向かう人々と、それをサポートする人工知能技術を描きました。実際には絵のように撲滅できるわけではないようですが、絵の中だけでも一発お見舞いしたかったのです。

「コロナをやっつけろ！」という内容だけではなくいぶん安直になってしまったので、人類が生存をかけて必死な一方で他の生物種はコロナの影響を受けずに普通に生きて（系統樹の枝を伸ばして）いる、というところを描き足しました。

前線に立つ医療関係者、エッセンシャルワーカーの皆様へ感謝して、お邪魔にならないように自分の身を守りつつ、世の中が1日も早く平穏を取り戻すことを願っています。

現在前線で働く医療従事者の皆様には尊崇の念が絶えません。同時に、研究者としても一人一人が自分達にできることで貢献しようとする動きは必ず大きな力になっていると信じています。

一方で、感染症の非専門家によりarXivなどに公開されたプレプリントが

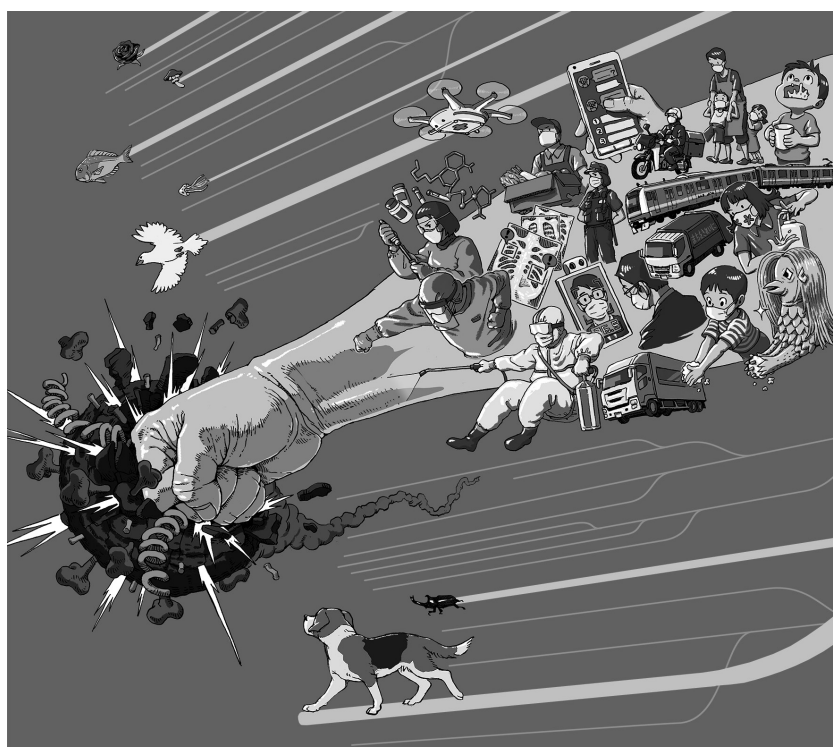


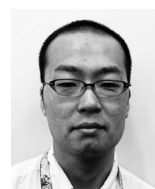
図1 2020年7月表紙 (©岩澤 駿)

与える影響について警鐘も鳴らされています。例えば、プレプリントを元に大げさな報道がなされ、人々の不安をあおってしまい、パニックを生じさせる危険性があるのではないかといったような懸念です。

そのような中であるからこそ、一人一人がそれぞれのできる貢献の力をうまくまとめることで、この難局を早期に収束できる“一撃”とできればと願わずにはいられません。

2020年6月3日 受理

—— 著者紹介 ——



北岡 伸也 (正会員)

2010年に大阪大学大学院情報科学研究科マルチメディア工学専攻を修了。博士(情報科学)。現在は(株)ドワンゴ niconico 事業本部 MLエンジニアリング部 (Dwango Media Village) マルチメディアエンジニアリングセクションでマネージャーを務める。人工知能学会編集委員として2020年の表紙を担当。